

お見舞い状

方正友好交流の会 御中

貴国の東北地方宮城県北部にて発生したマグニチュード8.8クラスの大地震によって、大変な数の人々の死傷と財産の損失とをもたらしましたことに、驚きを禁じ得ません。ここに、方正県26万人の県民を代表して、心からのお見舞いを申し上げ、被災されお亡くなりになられた方々に沈痛なる哀悼の意を表します。

貴国とは密接で友好的な往来が多く訪日帰国者も多い関係から、私たちは被災地域の状況に時々刻々重大な関心をもち、また全社会の力を動員し微力ながら全力を尽くして、貴国の被災された方々並びに貴国在住の本県出身華人華僑に対し、できる得る限りの援助をしたいと考えております。

貴国政府のリーダーシップの下に、被災地域の方々が、必ずや自然災害を乗り越え、郷里を再建されることと信じております。

中国共産党方正県委員会
方正県人民政府
2011年3月12日
(森一彦訳)

方正友好交流の会からの返事

中国共産党方正県委員会並びに方正県人民政府の皆さま、ご丁寧なお見舞い状をいただきまして、ありがとうございます。

日本国内観測史上、最大の大地震を記録しましたが、我々方正友好交流の会の事務局関係者は、全員無事ですのでご安心ください。しかし、全国に散らばっている会員や支持者などには、被害が広がっているかもしれません。その実体はわかりませんが、いずれ全容が明らかになるでしょう。今なお、余震が続いており、東京圏の通勤電車などは、平常の50%~70%であり、困難をきたしております。それにしても、安全だ安全だと聞かされていた原子力発電所からの放射能漏れにはやはり不安は隠せません。詳しいことは追ってわかってくるでしょう。

大自然には、人間の想像力を超えた力が潜んでいます。どんなに人間が智慧をふりしぼっても、その自然の力を超えることは不可能でしょう。今回の大地震は、これからの人間の生き方、そして、日本の生き方を根底から問い直していると言っているでしょう。

ともあれ、方正県にある日本人公墓は、永遠の日中友好の象徴であり、また未来を照らす国際主義的な精神の象徴的な存在でもあります。

どうかいつまでも維持していただきたいと思います。方正日本人公墓を訪れる人が増えれば増えるほど、日本と中国との絆は深まるでしょう。

中日友好園林の維持管理に感謝しつつ、お見舞状に対して厚く御礼を申し上げます。

2011年3月18日
方正友好交流の会
事務局長 大類善啓